

ジュニア夢カレッジ3 ～プロから学ぶお仕事体験～

子どもの頃、私たちはどんな「夢」や「憧れ」を描いていたでしょうか。その夢を叶えるべく、聖徳大学生涯学習研究所主催で、「ジュニア夢カレッジ3～プロから学ぶお仕事体験～」を12月10日(日)に実施しました。178名の小・中学生が参加し、各々が希望した職業を体験しました。

この事業は、子どもと学生の二方向のキャリア教育を目的としたもので、実施までの8カ月間、企画から参画した学生30名と生涯学習研究所スタッフおよび公募市民(地域サポーター)とが連携しながら協議を進めてきました。

プロから学べるお仕事体験は全14種類。学内からは「養護教諭」「看護師」「図書館司書」「幼稚園教諭・保育士」「パティシエ」「音楽療法士」「心理カウンセラー」「管理栄養士」「新聞記者」「建築士」「医師」、学外からは「鉄道職員」「グラフィックデザイナー」「弁護士」のプロにご協力いただき、学生と共にプログラムを作り上げていただきました。

当日は、お仕事体験の前に、子どもたち向けに「なぜ人は働くのか?」について考えるワークショップを行い、体験後に一堂に集結し、学生主導で「仕事について」のふりかえりを行いました。



学生主体による準備作業



管理栄養士体験より～栄養満点のカレーを作ろう!～



鉄道職員体験より～線路の落とし物を拾ってみよう!～

本事業の特色は、今回携わったスタッフ(プロ・教職員・学生・地域サポーター)のすべてがボランティアとして活動したこと、新京成電鉄株式会社、株式会社ディッジ、弁護士法人千代田オーク法律事務所等、多数の企業や法人からのご協力をいただいたことです。子どもたちからは、「仕事は大変」「楽しかった」「絶対に今日体験した職業に就きたい」「仕事は自分のためだけでなく、誰かのためになることだと分かった」など、保護者からは「貴重な経験をさせていただきました」「喜んで帰ってきました」など、感謝の声が続々と寄せられました。諸先生方のご協力に心から感謝申し上げます。

今後も、生涯学習研究所では、地学連携や社会参画に結び付く研究・実践を推進していきたいと思っております。

(生涯学習研究所 助手 有川 かおり)